



2017年10月5日

東京モーターショー出展概要

- 5モデルのアジア・プレミアを展示。
- BMWブースは東棟。
- プレス・カンファレンスは10月25日13:10から。

ビー・エム・ダブリュ株式会社(代表取締役社長: ペーター・クロンシュナーブル)は、2017年10月27日(金)より東京ビッグサイトで実施される第45回東京モーターショー2017へブース出展する。今年のショーテーマである「世界を、ここから動かそう。BEYOND THE MOTOR」に相応しいコンセプト・モデルを含む5モデルを、アジア・プレミアとして、アジア地域で初めて展示する。

また、東京モーターショー公開前に実施される10月25日(水)のプレス・デイにおいては、13:10より、BMWブースにてプレス・カンファレンスを実施する。

展示モデル(4輪)

アジア・プレミアとして、以下のモデルを展示する。

- BMW コンセプト Z4
- BMW コンセプト 8 シリーズ
- BMW M5
- BMW 6 シリーズ グランツーリスモ
- BMW X3

さらに、以下のモデルも展示する。

- BMW M4 CS
- BMW M760Li
- BMW M2
- BMW X6 M
- BMW i3
- BMW i8

展示モデル(2輪)

- BMW G 310 GS
- BMW C evolution
- BMW K 1600 B
- BMW R nineT Urban G/S

BMW コンセプト Z4

BMW コンセプト Z4 は、数年後に発売を予定しているモデルのデザイン試作車で、BMW の駆けぬける喜びを純粋に表現したモデルである。短くなったエンジン・フードとシャープなオーバーハングにより、従来の BMW ロードスターに比べて運転席が車体の中央寄りに位置している。フロント・ホイール後ろの存在感あるエア・ブリーザーを起点にして、車体の側面に深く彫が入ったデザインは、空気の流れによって現れた造形であるかのようにスムーズな曲線を描き、全体に流線型かつダイナミックな印象を与えている。フロントのキドニー・グリルは、BMW 328 Mille Miglia を想い起させ、クラシックなロードスター・モデルを連想させるデザインになっている。ヘッドライトは、ライトを縦に 2 つ重なり合わせた新しいデザインを採用すると共に、エンジン・フードのカーブがホイール上まで伸び、フロント全体にほとんど継ぎ目のない緊張感あるデザインとなっている。さらに、インテリアの大半をボディ・カラーで彩りながらも、ドライバー周りはブラックを採用することで、純粋な運転する喜びを妨げないような演出を施している。

BMW コンセプト 8 シリーズ

BMW コンセプト 8 シリーズは、今後導入予定の新型 BMW 8 シリーズ クーペのテイストをまとい、BMW クーペの本質である運動性能、高級感、圧倒的な存在感を具現化している。伝統的なデザインと新鋭的なアイデアがコラボレーションすることで、妥協のないスポーティな個性を印象的に表現。長いエンジン・フード、流れるようなルーフライン、そしてテール・パネルの独特な曲線により美しいシルエットを形づくっている。インテリアは、個々の部品デザインと素材の調和により躍動感と高級感を同時に演出。メリノ・レザーの採用、宝石のように光を屈折させるファセット加工が施されたセクター・レバー、スワロフスキー製の iDrive コントローラーにより、特別な室内空間となっている。車内のレイアウトは、ドライバーも含めて運転そのものが主役となるように配置され、見る物の期待感をくすぐる演出となっている。

BMW M5

新型 BMW M5 は、BMW の高性能モデルを手掛ける BMW M 社が開発したモデルとして、パワートレイン、サスペンション、エアロダイナミクスを高次元でバランスをとり、インテリジェント四輪駆動システムの M xDrive を搭載したハイ・パフォーマンス・セダンである。非常に高い運動性能を持ち、日常のあらゆる条件下で圧倒的な走行性能を感じさせるモデルになっている。最高出力 441 kW を誇る M ツインパワー・ターボ・テクノロジー搭載の V 型 8 気筒バイ・ターボ・エンジンと、駆動力配分を電子制御によって調整するアクティブ M ディファレンシャルを採用することで、高性能エンジンが生み出す駆動トルクを効果的に路面伝達し、高い走行性能を実現している。また、デザインの特徴でもある、カーボン・ファイバー強化プラスチック(CFRP) 製ルーフを初めとする様々な軽量化に取り組むことで、四輪駆動システムを装備しつつも軽量化を実現した、高性能なモデルとなっている。

BMW 6 シリーズ グランツーリスモ

新型 BMW 6 シリーズ グランツーリスモは、よりフラットなルーフ・デザインでクーペの魅惑的でスポーティなデザインを強調したボディに、BMW 直列 6 気筒 ツイン・パワー・ターボ・エンジンを搭載し、上質な長距離走行の快適性とプレミアム・クーペに相応しい高い機能性が融合されたモデルである。インテリアは、高めのシート・ポジションに、ドライバーの快適性を追求したコックピット・デザインを特徴としており、余裕あるスペースを確保している。さらに足元のスペースを広く確保し後部シートや、容量が 610 リッターから 1,800 リッターまで拡張可能なラゲージ・ルームを備えている。さらに、大幅に改良された空力性能、出力、最適化されたエンジン効率により、よりスポーティな走行性能と実用性を併せ持つモデルとなっている。

BMW X3

新型 BMW X3 は、より魅力的で躍動感あるスタイリングと、スポーティな走行性能を向上させたドライブトレイン、高級感のある装備品などによって、ミディアム・クラスにおける SAV(スポーツ・アクティビティ・ビークル)の新たな時代を彩るモデルとなっている。大型化したキドニー・グリルや、存在感のあるエア・ブリーザーなど最新の BMW のデザイントレンドを取り入れつつ屈強なオフロードのデザインとスポーティさを両立させている。内装も、随所にクローム加飾を施し、リヤ・ドア・パネルやセンター・コンソール等に「X」や「X3」のエンボス加工を施すことで、Xモデルのアイデンティティを主張。機能面でも最新の iDrive ナビゲーションのほか、最先端の部分自動運転機能や安全機能・運転支援機能が搭載されている。2.0L 直列 4 気筒 BMW ツイン・パワー・ターボ・エンジンによって、SAV ならではのダイナミックな走りを堪能できるモデルとなっている。

BMW M4 CS

BMW M4 CS は、高性能スポーツ・カー BMW M4 をベースに、サーキット走行性能を大幅に高めた日本全国 60 台限定のモデルである。サーキットにおける高い運動性能と日常走行における実用性を併せ持つ究極のドライビング・マシンである BMW M4 から、更なるエンジン性能の向上と車両軽量化を実施することで、究極のサーキット走行性能を提供する限定モデルとして誕生した。搭載されている 3 リッター直列 6 気筒 M ツインパワー・ターボ・エンジンは、最高出力 338kW、最大トルク 600Nm を発揮する。この卓越したパフォーマンスにより BMW M4 CS はスーパー・スポーツ・カーに匹敵する走行性能を持ち、0~100km/h の発進加速タイムは 4 秒を切って 3.9 秒(ヨーロッパ測定値)である。その官能的なエンジン・サウンドは、4 本出しのテールパイプ付きツイン・フロー・スポーツ・エグゾースト・システムから奏でられる。さらに、走行シーンに合わせて設定が変更可能なアダプティブ M サスペンションを標準装備し、サーキット・マシンとして卓越した性能を備えている。

BMW M760Li

BMW のフラッグシップである BMW 7 シリーズのトップ・エンド・モデル BMW M760Li は、極上のラグジュアリー・スポーツ・セダンに相応しい上質なデザインと、究極のダイナミズムを実現する走行性能、圧倒的にラグジュアリーな快適性を創り出す装備を搭載している。最高出力 448kW、最大トルク 800Nm のパフォーマンスを発揮する最新の 6.6 リッターV 型 12 気筒 BMW M Performance ツインパワー・ターボ・エンジンを搭載。その驚異的なパワーを余すことなく路面に伝えるインテリジェント 4 輪駆動システム「xDrive」との組み合わせにより、圧倒的な動力性能を実現した。エクステリアには M エアロ・ダイナミクス・パッケージを身にまとい、セリウム・グレーのマット塗装が施された専用 20 インチ M ライト・アロイ・ホイール・スタイリング 760M を装備する等、高性能ラグジュアリー・スポーツ・セダンに相応しい卓越した存在感を主張している。

BMW M2

BMW M2 クーペは、そのコンパクトなボディに、自然吸気エンジンのような官能的な吹けあがりと、ターボ・テクノロジーによる圧倒的なパワーを併せ持つ新開発の直列 6 気筒 M ツインパワー・ターボ・エンジンを搭載し、セグメント唯一の後輪駆動と約 50:50 の理想的な前後重量配分により、俊敏なハンドリングと卓越したロード・ホールディング性能を発揮する。さらに、BMW 2 シリーズ クーペの通常モデルから前後のトレッドとフェンダー・パネルを拡張した専用ボディを採用する等、BMW M モデルらしいパワフルなスタイリングを形成している。また、優れた剛性とバネ下重量の軽量化を実現した専用サスペンション・システム、あらゆる走行状況下で最大限のトラクションを確保するアクティブ M ディファレンシャルなど、サーキットでの究極のドライビング・ダイナミクスと日常走行における優れた実用性を両立している。

BMW X6 M

BMW X6 M は、BMW の高性能モデルを手掛ける BMW M 社による初の 4 輪駆動モデル「スポーツ・アクティビティ・クーペ」として登場して以来、その圧倒的な運動性能と、クーペ特有の優美で個性的な外観デザインで存在感を放っている。BMW の 4 輪駆動モデル史上最もパワフルな、最高出力 575 馬力を発生する新型 V 型 8 気筒 M ツインパワー・ターボ・エンジンを搭載し、わずか 4.2 秒*で時速 100km まで加速する圧倒的な動力性能を実現。さらに、BMW M モデルならではの走りを支える 8 速トランスミッションや、いかなる路面状況においても卓越した運動性能を発揮するインテリジェント 4 輪駆動システム「xDrive(エクストライブ)」を採用。4 輪駆動の長所である走行安定性を活かしながら、リヤにより大きな駆動力が配分されるように設定され、M モデルらしいダイナミックな走りも可能にしているなど、BMW M が誇る数々の革新的なテクノロジーにより究極のドライビング・ダイナミクスを提供する。

*: ヨーロッパ仕様車

BMW i3

BMW i3 は BMW i より発売された 100%電気自動車であり、「大都市における持続可能なモビリティ」として設計から販売まで、一貫して持続可能なモビリティであるための革命的な手

法を採用している。大容量のリチウムイオン・バッテリーを搭載しており、一充電走行距離は390km、さらに647ccの発電用エンジンを備えたレンジ・エクステンダーを装備すると走行中にエンジンが電力を発電するため航続可能距離が更に121km^{*1}延長可能で、合計で511km^{*2}の走行が可能。一方で、CFRPをボディの基本骨格に採用し、大容量のバッテリー重量を相殺する徹底的な軽量化を実施している。そして、モデルのコンセプトに相応しく、未来志向の全く新しいボディ・デザインに、インテリアにはリサイクル可能な再生材を随所に使用することで、持続可能なモビリティとしての個性と親しみやすさを両立させたモデルとなっている。

*: JC08 テスト・モードにおける試験値を元に算出。

BMW i8

BMW i8 は、スポーツ・カーでありながらコンパクト・カー並みの燃費性能と低排出ガスを実現したプラグイン・ハイブリッド・テクノロジー「eDrive(イードライブ)」や、CFRPをボディの基本骨格に採用するなど、最も革新的なプレミアム・スポーツ・カーである。フロントに電気モーター、リヤには直列3気筒BMW ツインパワー・ターボ・ガソリンエンジンを搭載している。これにより、BMW i8 は発進から時速100キロまでをわずか4.4秒で加速し、スポーツ・カーに相応しい動力性能を実現しつつ、ハイブリッド燃料消費率19.4km/lを達成している。今回展示するProtonic Frozen Yellow(プロトニック・フローズン・イエロー)は、クールな印象のマット・カラー「BMW Individual プロトニック・フローズン・イエロー」の専用ボディ・カラーと、マット加工された20インチアロイ・ホイールとの組み合わせにより、圧倒的な存在感を放つ。さらに、LEDヘッドライトの2倍もの照射距離を実現した次世代のライト技術「BMW レーザー・ライト」を標準装備とし、フロント・フェイスからもBMW i8の革新性が強く印象付けられる。インテリアは、ブラックを基調としながらイエローのアクセントを随所に取り入れ、特別なモデルであることを演出している。

BMW G 310 GS

新型BMW G 310 GSは、普通自動二輪免許で運転可能な小排気量モーターサイクルである。フロント・ライトの下から進行方向にシャープに突き出たアグレッシブなフロント・フェンダーと、同じく高い位置に配置されたリヤ・エンドにより、BMWのオフロード・スタイルとしてのスポーティな個性を主張している。シート・ポジションは、人間工学に基づいてドライバーが疲れにくい位置に設定され、フットレストやスイッチ類も操作性を重視して配置されているため、体格に関わらず、リラックスした快適なライディングを提供する。排気量313ccの水冷単気筒エンジンは、シリンダー・ヘッドの向きを180度回転させ、インテークが前側に、エキゾーストが後側になるように配置されている。この特徴的な配置により、燃料室に空気が直線的に供給され、高い走行性能を発揮する。装備面では、2チャンネル式BMW Motorrad ABSを標準装備。操作ボタンによってABSをオフにすることも可能なため、軽いオフロード走行も十分に楽しむことが出来る多様性をもったモデルとなっている。

BMW C evolution

電動プレミアムマキシスクーターである BMW C evolution は、BMW i テクノロジーの新世代大容量リチウムイオン・バッテリーを搭載し、航続距離が最大 160km、最高速度 129km/h と優れたパフォーマンスを実現。EV 充電スタンドまたは普通充電用 200V コンセントを使用し、80%まで3.5時間で充電が可能である。これまでのマキシスクーターと比較して重心を低くしたことにより、快適なハンドリング性能を実現した。交通量の増加、エネルギーコストの上昇、および市街地での車両の CO2 排出規制の厳格化は大きな課題となっているなか、C evolution は、こうした課題を認識し、現在および将来のモビリティに求められるニーズに応えた次世代電動プレミアムマキシスクーターである。

BMW K 1600 B

BMW K 1600 B は、リア・サイドに専用の固定式パニア・ケースが付き、車体後部が低く安定感のある伝統的なバガー・スタイルのモーターサイクルである。最高出力 118 kW(160 PS)、最大トルク 175 Nm を発揮する直列 6 気筒エンジンを搭載し、ダイナミックかつ安定した走りを実現している。ボディ・カラーには漆黒のブラック・ストームを採用し、路面に対して平行に伸びた印象的なクローム・メッキのサイレンサーと共に、強烈な個性と存在感を放っている。装備面では、長距離ツーリングも想定し、走行条件に合わせてライディングモードを変更できる Dynamic ESA(電子調整式サスペンション)等、ライダーの快適性を向上させる様々な装備が採用されている。

BMW R nineT Urban G/S

BMW R nineT Urban G/S は、80 年代に登場した伝説的なモデルである初代 BMW R 80 G/S のオフロードスピリットと独特なスタイルを携えつつ、最新のテクノロジーを搭載したモーターサイクルである。この新しい BMW ヘリテージ・モデルは、排気量 1,170 cc で出力 81 kW(110 ps)を発揮する力強い空油冷式ボクサー・エンジンに 6 速ギア・ボックスを組み合わせている。テールパイプを左側に配置したステンレス・スチール製エキゾースト・システムは、クラシックなスタイリングを反映して、伝統と先進性を感じさせるモデルとなっている。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、
BMW カスタマー・インタラクション・センター:フリーダイヤル 0120-269-437 を
ご掲載ください。

受付時間: 平日 9:00-19:00 / 土日祝 9:00-18:00

BMW インターネット・ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>

この件に関する報道関係者のお問い合わせは:
BMW Japan Corp. 広報室:03-6259-8026(製品広報)